

お知らせ

今後の活動予定



今後は以下のような、活動を予定しています。

- 第7回水辺フォーラム 【主催:水辺まつり実行委員会】 平成21年12月12日(土)
- 第5回猪名川流域意見交換会 【主催:猪名川河川レンジャー】 平成22年 1月上旬
- 第7回猪名川クリーン作戦 【主催:猪名川クリーン作戦実行委員会】 平成22年 2月6日(土)
- 出前講座(水防災) 【主催:猪名川河川レンジャー】

出前講座(防災編)の開催地区募集!

猪名川河川レンジャーがコーディネートする出前講座(防災編)を開講しています。出前講座(防災編)は、猪名川流域の住民の方たちを対象に、猪名川の洪水の特徴を理解し、水防災に対する自助(自分の手で自分や家族を守るための備えや行動)・共助(災害時要援護者支援など地域の方と協力して、地域を守るための備えや行動)の意識啓発を図ることによって、地域防災力の向上と確立に寄与することを目的としています。

開講ご希望の方々や、ご質問のある方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。



栄木R

ニュースレターであなたの活動を紹介してみませんか?

猪名川河川レンジャーNewsLetterでは、地域で頑張る住民の方々の活動を『広くPRする場』・『イベント情報の交換の場』として活用して頂き、『流域全体でのネットワークを構築する一助となる』ことを目的として、猪名川流域(猪名川・藻川およびそれぞれの支川)で活躍されている皆様の水辺に関わる活動を紹介していきたいと思っています。

「自分たちが行っている活動を流域の人々に紹介したい方」、「流域全体でのネットワークを構築することなどに興味がある方」は下記メールアドレスまで、お気軽にご連絡下さい。



地域の活動を
紹介して、猪名川
流域全体に、広
げていきましょ
う!



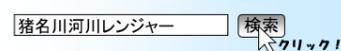
奥村R

河川レンジャーって何?

『河川レンジャー』は、地域と連携した河川整備を進めるうえで、住民に川に関心を持ってもらい、住民参加型の河川整備の推進を支援する立場で、**住民と行政との関係をコーディネートし、人と川をつなぐ**役割を担っています。猪名川流域の水辺での活動などを通じて、「**防災**」「**維持管理**」「**河川利用**」「**環境保全**」「**水辺文化**」の5つの分野に貢献しています。

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、下記HP・メールアドレスをご利用頂くか、猪名川河川事務所 管理課までご連絡下さい。

猪名川河川レンジャーのホームページ: <http://iranger.web.fc2.com/>
メールアドレス: inagawa_ranger@ss.pacific.co.jp



猪名川河川事務所 管理課 電話番号: 072-751-1111(代表) 住所: 池田市上池田2丁目2番39号

(発刊日: 平成21年11月30日)

人と川をつなぐ

いながわ 猪名川河川レンジャー

NewsLetter vol.1

猪名川とつながろう!

シリーズ「猪名川を知ろう」

～猪名川的环境 その1 環境の課題～

河川レンジャー活動レポート

猪名川を感じる

～「第6回 猪名川水辺まつり」に参加・協力～

猪名川を知る

～「もっと猪名川を知ろう!バスツアー」
に参加・協力～

シリーズ「猪名川を知ろう」 NO.3

猪名川の環境 その1 河川環境の課題



榎原R

川西市、池田市、宝塚市、箕面市など多くの都市がある猪名川流域では、流域の市町村に約180万の人が住み、川の水は生活用水、工業用水、農業用水として利用するなど私たちの生活と深くかかわっています。

また、一方で、猪名川は以下に示すように多くの生き物を育む環境を提供しています。

今回は、猪名川の河川環境の課題をご紹介します。

猪名川に棲む生きもの

植生：中流部ではオギ、ツルヨシ等、下流部ではヨシ、セイタカヨシ等が代表的です。

鳥類：水辺や中州ではサギ類・千鳥類・セキレイなどが多く見られ、河口には一年を通してカワウがいたり、冬にはカモ類やユリカモメが浮かんでいるのが見られます。

魚類：60種を超える魚種が確認されており、最も多いのはオイカワで、ギンブナ、カマツカと続きます。

昆虫：最も多いのは河川敷にいるバッタ類です。

両生類、爬虫類、哺乳類：トノサマガエル、イシガメ、アオダイショウ、カヤネズミ等が比較的多く見られます。

●【課題1】湿地環境の減少

猪名川下流部(6.0K付近まで)には、広いヨシ原が存在していましたが、セイタカヨシ・オギ原等に推移しています。都市部を流下する猪名川では、下流域におけるヨシ原等の湿地環境の存在は、オオヨシキリなどの鳥類やカヤネズミ等の陸上動物など、動植物の生育・生息環境として貴重な場を提供しているため、対策が必要です。



猪名川下流区間で見られるヨシ群落

●【課題2】河原環境・水陸移行帯の減少

猪名川では河原が減少しています。

これに伴って、アレチウリ等の外来種の侵入、カワラナデシコ等の河原固有の生物の減少などが進み、かつての河原を中心とした河川生態系は従来とは異なった生態系へと変化しています。

●【課題3】縦断連続性の分断

猪名川の直轄管理区間には、8基の井堰・落差工があります。上流の井堰2基には魚道が設置されていますが、下流の6基には魚道がなく、また流入する支川のうち、空港川合流部、余野川合流部では落差があるため、魚類、カニ類等の遡上、降下等が阻害されています。

●【課題4】河川流量の減少

水需要の増大や流域下水道整備に伴う流量のバイパス等、さらには近年の小雨傾向に伴い猪名川の河川流量は減少しています。

●【課題5】水質改善の鈍化

かつて猪名川では友禅流しが行われるなど、良好な水とともに生活文化が形成されていましたが、昭和30～40年代の社会経済の発展と都市化に伴い、猪名川の水質は悪化しました。

さまざまな対策の結果、現在では猪名川の水質は改善されてきています。しかし、猪名川は依然として良い水質の「水のきれいな川」とは言い難い状況にあります。今後は、流入水の水質改善に努めるとともに、水量の安定的な確保などによって水質の改善に努めていく必要があります。

●【課題6】外来生物の侵入

高水敷は、親水公園やグラウンド、駐車場といった施設が整備され、地域住民の親水性を考える上で重要な意味をもっています。

一方で、高水敷の存在は流路の固定、外来植物の侵入といった本来の河川環境にはみられない現象を引き起こしています。高水敷の管理では、外来植物の侵入等に関する監視活動とそれに伴う適切な対策が必要です。



外来植生（アレチウリ）の繁茂

出典：猪名川河川事務所資料

猪名川河川事務所 ウェブページ <http://www.inagawa.kkr.mlit.go.jp/index.html>

河川レンジャー 活動レポート

「第6回 猪名川水辺まつり」に参加・協力



数山R

平成21年9月20日、水辺まつり実行委員会の主催する、「第6回水辺まつり」が、藻川中園橋の河川敷で開催されました。当日は、天候にも恵まれ、多くの方が会場を訪れ、ボート体験、さかなをさわるイベント、模擬店など多彩な催しを思い思いに楽しんでいました。

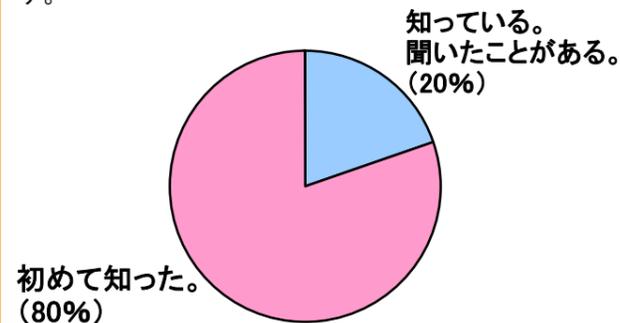
河川レンジャーも実行委員会に参加し、河川管理者へ占用許可申請をするなど、開催に当たって、協力をしました。一方で、河川管理者の参加を調整し、行政と地域住民とのつなぎ役としても機能することができました。

また、当日は、河川レンジャー自身も、ブースで普段の活動のPRをするとともに、紙芝居を使って、子ども向けに水環境の重要性を説明しました。

ブースを訪れてくださった参加者の皆さんから、猪名川・藻川、河川レンジャーに対するメッセージを募りました。また、河川レンジャーを知っているかどうか、についてアンケートしてみました。

河川レンジャー知ってる？

河川レンジャーをはじめ知ったという方が多く、もっと河川レンジャーをアピールしていく必要がありそうです。



皆さんにいただいたメッセージ

美化活動や水質を良くすることで、きれいな川にしていこうという意見がとて多かったです。

- ・久しぶりに川を見たらキレイになった。キレイだと気持ちいいネ!!
- ・猪名川でホタルがいっぱい見られるようになったらいいな!!
- ・ゴミを捨てる人がいなくなるような世の中になりますように。自然がいっぱいもどってきますように。

- ・猪名川で子供達が自然にいっぱいふれあえる場にしてほしいので、(河川レンジャー)がんばって下さい。

「もっと猪名川を知ろう！バスツアー」に参加・協力

平成21年11月5日、流域ネット猪名川の主催する「もっと猪名川を知ろう！バスツアー」が開催されました。当日は、猪名川の多くのポイントを回り、参加者の皆さんは、普段見ることのない猪名川の姿に満足した様子でした。

河川レンジャーは、開催に当たって、河川管理者である猪名川河川事務所へ、普段の取り組みに関する話題の提供、ウェブページ「いーないながわネット」での広報を依頼しました。当日は、猪名川に関する知識を活かして、バスのガイド役としても活躍する一方、気象データを使って、大雨増水で水難事故にあわないために注意することを参加者へ説明しました。

参加者の感想 (参加者から送られてきた感想を抜粋、編集しています)

- ・現地を見ながら湧水のように豊富な説明を受けると心にしみ込みます。正に猪名川の温故知新！ツアーでした。川の恩恵を直接感じない現代人は川に対してただの水路、溝の意識しかなくて、治水のこととなると力づくで押さえ込もうとします。これは昔の人に学ばなければならないところだと思います。昔の人のように川下りしたり、子どもたちにこんな猪名川巡りの機会があったりしたらいいなあと思いました。
- ・乗車時から降車までの行程の間、分かりやすく、その場、その場に合った説明が良かった。本当に猪名川をなんとか、皆できれいにしようという意欲が感じられ、猪名川に改めて興味を持った。
- ・普段踏み込めない場所にも入り込め、専門家の話を聞いて、より川に関心を持つようになった。
- ・一庫ダムができて、下流域の状況が変わってきて、礫を投入したり、それを下流に流すため、フッシュ放流をしている話は初めて聞いたが、ダム管理として、いろいろ工夫されていることが分かった。
- ・外来植物の侵入については現地説明が非常に効果的であった。
- ・こんな企画があれば次回も是非参加したい。

